

2017 ウェーブエンペラーカップ参戦記

2017/7/17 内田 祐弘

7/8(土)大井ふ頭中央海浜公園スポーツの森陸上競技場にて行われた、2017 ウェーブエンペラーカップについてレポート致します。

当大会はミズノ主催による「最速市民ランニングクラブ決定戦」と銘打った大会で昨年より開催されています。

【ルール】

- ・各チーム5名でそれぞれ5,000mを走ったタイムを合計して順位算出
- ・統一ユニフォームまたは共通Tシャツ着用
- ・北海道、中部、九州、近畿、東北、関東・北信越、中国の各予選ステージの上位2チームが決勝ステージに進む

【カテゴリ】

チャンピオンカテゴリ：5,000mを18分59秒以内、18歳以上男女

チャレンジカテゴリ：5,000mを27分59秒以内、40歳以上男性、18歳以上女性

【URC出走者（敬称略）】

チャンピオン：加藤 雄貴、飯塚 重房、桜井 隆志、松下 正和、清水 雅人

チャレンジ：浅川 秀之、筒井 豊、内田 祐弘、富田 祐司、前原 信夫



午前 11 時にチャレンジの第 1 ウェーブからレースが始まりました。気温は既に 30℃を超えています。URC からは快速ランナーの浅川さんが登場。快調に飛ばしていきます。後半、顔が苦しそうに歪むものの、スピードは全く衰えずそのまま上位でゴール！いきなりの 17 分代でチャレンジメンバーにプレッシャーが掛かります。

続けて 11 時 30 分にチャンピオンカテゴリーの第 1 ウェーブがスタートです。Team MxK の松本 翔さんがガンガンに飛ばしていきますが、我らが加藤くんも負けていません。2 レース連続で URC のユニフォームが上位でゴール。鳥肌が立ちました。

12 時にチャレンジカテゴリー、12 時 30 分にチャンピオンカテゴリーの第 2 ウェーブがスタート。URC からはそれぞれ筒井駅伝部部長と飯塚くんです。駅伝部部長は流石の安定した走り、飯塚くんも練習時間がなかなか取れない中でも、昨年よりも好タイム。2 人とも上位でゴール。

第 3 ウェーブは 13 時と 13 時 30 分のスタート。気温は更に上がって危険水域という感じ。URC からは私（内田）と桜井くんです。私は今の力では 18 分代を狙うのは無謀な状態なので、何とか 19 分をと思って走りましたが、人生ワースト&初の 20 分代でした。桜井くんの方は本調子ではない中で 17 分代は流石の走りです。

いよいよレースも終盤戦。ここまでのトータルタイムはチャレンジカテゴリーはアトミクラブが他チームを圧倒。チャンピオンカテゴリーは Team MxK とスバル、さいたま市陸協の三つ巴という感じ。

第 4 ウェーブは 13 時にチャレンジカテゴリーの富田さん、13 時 30 分にチャンピオンカテゴリーの松下くんが登場。富田さんは無理せず安定の走りは流石です。松下くんは大きなストライドを生かしてガンガンと行きます。ゴール手前 100m から 2 人を交わす脅威のラストスパートも見せてくれました。

最終ランナーはチャレンジカテゴリーの前原さんとチャンピオンカテゴリーの雅人です。前原さんは有言実行の 19 分代。写真撮影にポーズを見せる余裕の走りでした。雅人は最終レースということもあり、周リエース級ばかりの中での走り。15 分代は出なかったものの、快走でレースを締めくくりました。

最終結果はチャンピオンカテゴリーは Team MxK の圧勝（スパイク着用禁止のペナルティタイム加算しても断トツ）。チャレンジカテゴリーはやはりアトミクラブの圧勝でした。

URC の結果はチャンピオンカテゴリー 6 位、チャレンジカテゴリーも同タイム 6 位でした。

特にチャンピオンカテゴリーは浦安市民全体の上位を集めた、ある意味では浦安代表のようなチームでの参戦でいたが、決勝ステージへの道は遠く、層の厚さを感じました。

来年もエンペラーズカップは開催されるとは思いますが、このままでは私は代表に選ばれるとは思えませんので、「もう一頑張り」を決意させる良い大会でした。



浅川さん



加藤さん



筒井さん



飯塚さん



内田(祐)



桜井さん



富田(祐)さん



松下さん



前原さん



清水(雅)さん

